



岐阜ジョイント・ディグリーシンポジウム2020

12月8日、9日

本学は、インド工科大学グワハティ校(IITG)およびマレーシア国民大学(UKM)と4つのジョイント・ディグリー (JD) プログラムを2019年4月に開設し、グローバルに活躍できる人材の育成を推進しています。昨年に続き2回目の開催となった本シンポジウムは、「ポストコロナ時代のジョイント・ディグリー」をテーマに、オンラインで開催されました。伯井美徳文部科学省高等教育局長による基調講演をはじめ国内外から多数の関係者が参加し、JDプログラムを教育的視点のみならず、多方面の分野から考える有意義なものとなりました。



メインシンポジウム

Gifu Joint Degree Symposium 2020
 2020年12月8日(火) 10:00-12:00
 12/8 Tue 10:00-12:00
 12/9 Wed 13:30-17:00
 12/9 Wed 13:30-17:00



学術セッション



産官学連携セッション

Collaborative Video Making Program

2020年11月~2021年3月

本学(8名)、IITG(4名)およびUKM(4名)の学生が4つのグループに分かれてチームを組み、協働で動画を制作するCollaborative Video Making Programをオンラインにて実施しました。参加者は、オーストラリアのcreative agencyのプロデューサーからスマートフォンでの動画撮影技術の指導を受けながら、ポストコロナ時代に向けた国際交流の促進をテーマに、各大学での学生生活の魅力の一つのストーリーに仕上げました。3月9日には各チームの作品のコンペティションがウェビナー形式で行われ、1位のチームにはBest CVMP Awardが贈られました。各チームの動画作品はGU-GLOCAL Channelでご覧いただけます。



IITGとの合同ウェビナー

10月16日

合同ウェビナー「食品科学技術におけるトランスレーショナルリサーチ(橋渡し研究)の新展開」をIITGと開催しました。本ウェビナーは、創設75周年を迎えた国連食糧農業機関の目標を視野に入れ、JDプログラムとの相乗効果と産学交流を目的とし、国連が定める世界食糧デーに合わせて開催しました。5名の講演者が食品科学技術における学術的および応用的な最新動向を紹介し、約390名が聴講しました。





本学は、岐阜県出身の元外交官 杉原千畝氏を縁に岐阜県が親交を結ぶリトアニア共和国と、緊密な友好関係を構築しています。2010年にカウナス工科大学(KTU)、2012年にヴィータウタス・マグナス大学(VMU)と大学間学術交流協定を締結して以来、教職員や学生等の相互交流を継続的に行っており、本年度も様々な行事を開催しました。

岐阜大学とリトアニア 交流の歩みパネル展

12月3日～12月25日

昨年度開催した「ギターナス・ナウセーダ リトアニア大統領来日特別記念講演会」や「名誉博士号授与式」の様子、KTUおよびVMUとの交流の軌跡を写真や記録を通して振り返るパネル展を、岐阜大学図書館にて開催しました。



「リトアニアと杉原千畝」 講演会

12月11日

シャウレイ大学のシモナス・ストレルツォーバス准教授による講演会「リトアニアと杉原千畝」をオンラインにて開催しました。講演では、第二次世界大戦下のリトアニアの国政やユダヤ人難民の苦難、杉原氏の偉業などが詳細に語られました。



リトアニア勉強会 in八百津

12月12日

杉原氏の生誕地・八百津町(岐阜県)にて、「リトアニア勉強会in八百津～岐阜大学生のリトアニア留学体験記～」を開催しました。2019年にVMUに留学した本学学生が、留学の動機や現地での生活、得られた成果などを臨場感たっぷりに報告しました。



愛岐留学生就職支援コンソーシアム 文部科学省委託事業 留学生就職促進プログラム

岐阜地区ワークショップ

10月28日

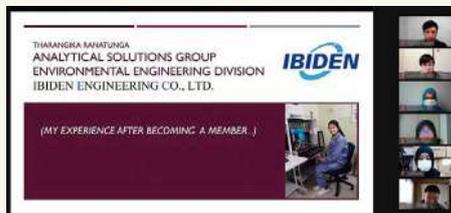
留学生の地元企業への就職を支援するワークショップを、コンソーシアムに参画する岐阜県内の4機関(本学、岐阜県、岐阜県経営者協会、日本貿易振興機構(ジェトロ)岐阜貿易情報センター)の共催で実施しました。留学生と企業が一堂に会して交流することで、相互理解が深まり今後の展開への期待が高まる会となりました。



社会人OB・OGとのオンライン交流会

1月23日

留学生就職促進プログラムを活用して国内企業に就職した5名の卒業生が講師となり、日本での就職を目指す留学生17名に、自らの経験をもとに就職活動や仕事についてアドバイスをしました。参加者は先輩から激励を受けるとともに、就職活動や日本企業への理解をより一層深めました。



岐阜大学への留学

留学という 神様からの贈り物



岐阜大学の学生になれたことが、神様からの一番の贈り物です。3度目に挑戦した2019年の秋、ついに念願が叶いました。研究室の高額な実験器具の操作や日本の四季、小学校の補助教員や岐阜県のNGO団体の活動への参加、アルバイトなど、今までに経験したことのない多くのことを体験しました。さらに礼儀正しさ、規律正しさ、勤勉さといった日本の文化も学びました。神様へ、そしていつも私を支えてくれる私の愛する母RAMAITIに心から感謝しています。



自然科学技術研究科
ウィンキ メイ ヘンラ





本学では、国際理解および異文化交流の促進を目的に、毎年様々な行事を開催しています。本年度は10月を「国際月間」と位置づけ、コロナ禍の中、オンラインや先端技術を活用した国際交流を行いました。

Google Earth VRで海外を体験 | 10月7日

VR(仮想現実技術)と海外協定校の紹介を融合した体験型イベントを開催しました。参加者は、スクリーンに投影されたGoogle Earthの臨場感ある映像を見ながら、海外協定大学のキャンパスツアーを楽しみました。また、Hololens2を用いた複合現実体験やテレプレゼンスロボットDouble3を用いた遠隔コミュニケーション体験など、次世代の先端テクノロジーに触れる機会となりました。



国際広報展 | 10月9日～10月29日

本学の自然や国際交流活動の様子について、杉浦隆工学部教授が撮影した写真を岐阜大学図書館に展示し、学内外に広く紹介しました。開催期間中は多くの方が訪れ、四季の変化が織りなす美しいキャンパスや、昨年度開催された「リトアニア大統領来日特別講演会」などの写真に見入っていました。



English Circle of Friends (EC) | 10月14日、28日

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染予防対策を取りながら6月末にECが再開されました。対面での交流を渴望していた多くの学生や職員が参加し、久しぶりの英会話を楽しみました。



協定校とのオンライン交流会 | 10月14日～10月29日

世界的に留学がままならないCOVID-19下を逆手に取り、海外協定校の学生とオンライン交流会を4大学計7回開催しました。事前申し込みでは定員を超える応募を受け、のべ103名が参加しました。本学のリエゾン教員がファシリテーターとなり、英語と日本語を交えながらお互いの大学生活や食文化等、様々な話題を通して交友を深めました。



オンライン留学説明会

12月18日、23日

グリフィス大学 アルバータ大学

春休みにオンラインで実施されるESL*の留学説明会を開催しました。コロナ禍での新しい留学方法を模索する学生たちが熱心に耳を傾け、説明会の様子はGU-GLOCAL Channelから動画でも配信されました。説明会前に実施されたアンケートでは39%の学生がオンライン留学を希望しており、関心の高さがうかがえました。

*ESL: English as a Second Language



海外への留学

オンライン留学を自分らしく

アルバータ大学



地域科学部
松井 愛生



二週間の講義でカナダの生活、文化、世界遺産などを写真や動画などからたくさん学び、現地へ行っているような気分を味わえました。今回の留学は周りが日本人の生徒ばかりで、少人数のグループワークでは日本人同士日本語を使いたくなりましたが、互いに拙い話し方でも英語で会話するということを徹底しました。時々、アルバータ大学に留学している様々な国籍の留学生とも交流でき、とにかく話しかけ会話する機会を逃さないようにしました。オンライン留学でも英語力や国際交流の楽しさは自分の意識次第で十分に得られるものだと思います。



南フロリダ大学と 学術交流協定を締結

12月15日



米国・南フロリダ大学と大学間学術交流協定を締結しました。同大学は学生数50,000人規模の全米のトップ公立研究大学の一つです。本学とは1989年に研究者交流が始まり、2016年10月に本学医学部及び保健管理センターと同大学医学学群との間に部局間学術交流協定が締結されました。本締結により、幅広い分野でのより一層の活発な交流が期待されます。



在京都フランス総領事来学

12月22日



ジュール・イルマン在京都フランス総領事と岐阜日仏協会の会長および理事が本学を訪問しました。本学は、パリ第11大学およびリール大学と大学間学術交流協定を締結しています。一行は本学学長らと、学術交流の状況や留学の推進、宇宙工学分野について、活発な意見交換を行いました。フランス語の講義も参観し、同国の感染症対策などが語られました。



アルバータ大学 ビジネス英会話研修

10月26日～30日



本学は、職員の実践的な英語力の向上を目的に、毎年2名の職員をアルバータ大学の実務研修に派遣しています。今年度はコロナ禍での新しい研修形態として、オンラインによるビジネス英会話研修を実施し、10名の職員が受講しました。最終日は、本学を紹介するプレゼンテーションを行い、研修の成果を発揮しました。



インドネシア同窓会 Graduation and Welcome Party

10月29日



岐阜大学インドネシア同窓会委員会は、2020年秋に卒業したインドネシアからの留学生の卒業を祝福し、また同窓会への加入を歓迎するパーティーをオンラインで開催しました。本学は同国の12大学と大学間および部局間学術交流協定を締結しており、多くの留学生を受け入れています。同窓会は、13名の卒業生による研究発表後、日本の歌が流れる中、留学当時を懐かしむ和やかな会となりました。



グローバル化のためのSDGs勉強会

大学が持つ国際的な人・情報・ネットワークを活用し、岐阜県および東海地域の「グローバル化」推進の一つの手段として「グローバル化のためのSDGs勉強会」を本年度より立ち上げ実施しています。本勉強会は、地域のグローバル化と持続可能な社会に向け、学内外の学術的な交流を目的とし、専門家を講師に迎えウェビナー形式で計5回開催されました。

テーマ	
第1回	バイオエコノミー時代のグローバル化
第2回	バイオマス利用入門
第3回	バイオ戦略に対する産業界の期待
第4回	バイオ農業・海外の動向
第5回	食品成分の網羅解析(高付加価値化ツール)



第3回「バイオ戦略に対する 産業界の期待」

1月22日

本勉強会の第3回では、一般財団法人バイオインダストリー協会 坂元雄二氏を講師に迎え、「バイオ戦略に対する産業界の期待」をテーマに開催しました。本学学生・教職員や民間企業等からの参加者が聴講し、持続可能な社会構築における企業の役割や、バイオ産業による社会貢献の潜在能力などについて知見を広めました。

